

メキシコ金融政策（2023年3月）

利上げ幅を0.25%ポイントに縮小

2023年3月31日

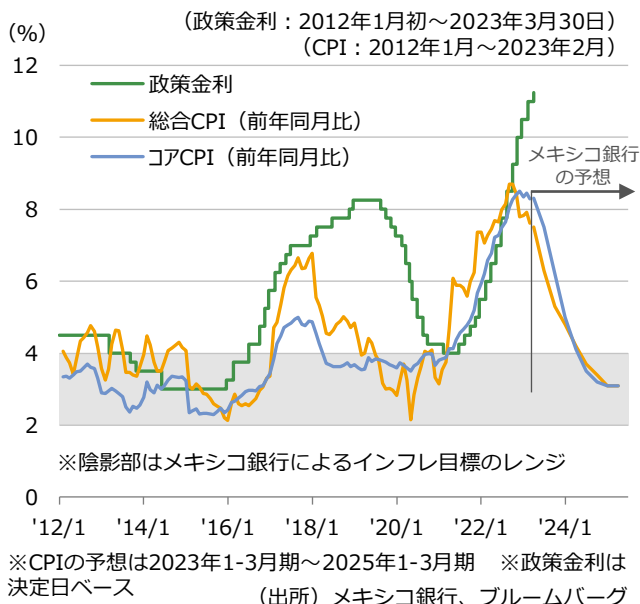
追加利上げの有無は明言せず

メキシコ銀行（中央銀行）は3月30日（現地）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を11%から11.25%に引き上げることを全会一致で決定しました。利上げは2021年6月から15会合連続です。

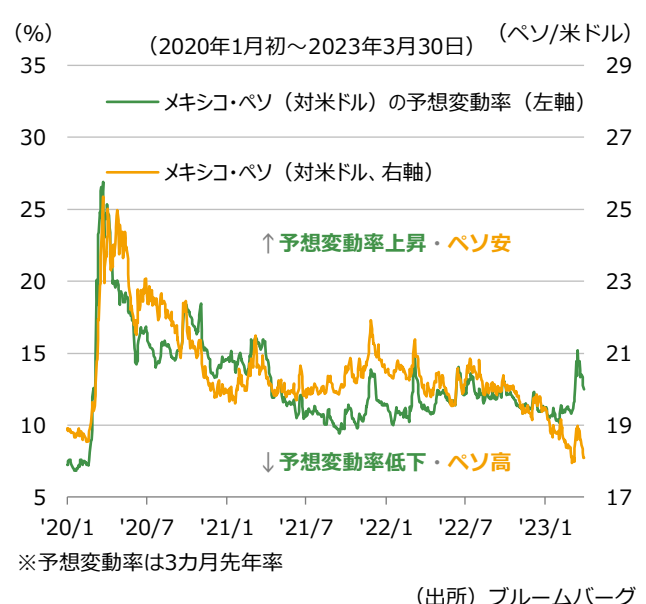
前回会合では、サービス価格を主因に1月コアCPI（消費者物価指数）の上昇が加速したことを受けて0.5%ポイントの利上げが決定されました。しかし、その後のコアCPIが緩やかに減速したことに加え、総合CPIの減速がメキシコ銀行の予想以上だったことなどが、今会合での0.25%ポイントへの利上げ幅縮小につながった要因のようです。なお、「今後の決定については、既に実施した利上げを踏まえた上で、インフレ見通しを考慮する」とし、追加利上げの有無は明言しませんでした。

メキシコ・ペソは昨年後半から米ドルに対して増価基調で推移していましたが、3月上旬に米銀行の信用不安によりリスク回避姿勢が強まったことで、予想変動率の上昇とともに減価しました。しかし、足元では信用不安が金融危機につながるとの過度な懸念が和らぐ中で、予想変動率の低下とともにメキシコ・ペソは買い戻される展開となっています。メキシコ銀行はインフレ見通しの上振れ要因として新たに「国際金融市場の不安定化による通貨安」を挙げているため、再び信用不安が高まれば、通貨安を回避するために追加利上げに動く可能性が高まるでしょう。こうしたメキシコ銀行の姿勢は通貨の下支え要因になると考えられます。

メキシコの政策金利とCPI



メキシコ・ペソの予想変動率とメキシコ・ペソ



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management